

平成 29 年度 南湖ホンモロコ標識種苗放流事業実績報告書

記

1. 事業実施状況

(1) 事業実施方針

協会は、南湖ホンモロコ標識種苗放流事業において、水草刈取りによる環境改善効果等を判定するため、標識した全長 20 mm のホンモロコをモデル地域である下笠地先等へ放流することを目的とする。

(2) 事業実施結果の概要

- ・生産については、一部を山田漁協に再委託して実施した。
- ・採卵は 4 月 18 日～5 月 2 日に、採卵基体には、遮光シート枠を用いて自然採卵により行い、目測で 4～5 万粒／枠の産着を確認できたものより随時回収した。
- ・回収した採卵基体は速やかに收容するか、一部は栽培センターまで持ち帰り、発眼時に ALC 標識を装着したのち、網イケスに收容して適切に管理し、ふ化仔魚 3,465 千尾を得た。
- ・得られたふ化仔魚は、13 日目まで天然プランクトン、途中ふ化後 8 日目から配合飼料を併用で与えて飼育した。
- ・48～59 日間飼育し、歩留りは平均 30% で、平均全長 20.0 mm のホンモロコ稚魚 1,052 千尾を得た。
- ・生産した種苗は、6 月 16、23 日に草津市下笠地先に、7 月 3 日に守山市赤野井地先に、放流直前に全数 ALC 標識を施して放流した。なお、内訳は下笠地先に 749 千尾、赤野井地先に 303 千尾で、赤野井放流群には、発眼時に標識を一度装着した個体を使用し、放流場所の区別ができるようにした。

(3) 事業実施期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 10 月 31 日まで

(4) 担当者

(公財) 滋賀県水産振興協会 田中 満

2. 添付書類

(1) 事業結果

放流種苗生産結果

平均全長 20.0 mmの稚魚を 1,052 千尾放流した。種苗生産の結果を表. 1 に示す。

放流種苗には水草刈取りによる環境改善効果等を判定するために、モデル地域である草津市下笠地先に ALC1 重標識を、守山市赤野井地先に発眼時と放流直前の 2 回 ALC 点、1 重標識を施し、場所の区別ができるようにして放流した。

表. 1 放流種苗飼育結果

区分	採卵日	稚数	ふ化日	取上日	日数	収容尾数 (千尾)	取上尾数 (千尾)	取上げ重量 (kg)	全長 (mm)	歩止り (%)	備考
1	4月20日	35	4月28日	6月16日	49	1,405	357	25.01	19.9	25	ALC1重
2	5月2日	30	5月6日	6月23日	48	1,200	392	23.50	19.2	33	ALC1重
3	5月1日	21	5月6日	7月3日	58	860	303	24.23	22.0	35	ALC点+1重
合計		86				3,465	1,052	72.74	20.0	30	

(2) 事業実施写真



産卵基体(遮光シート)



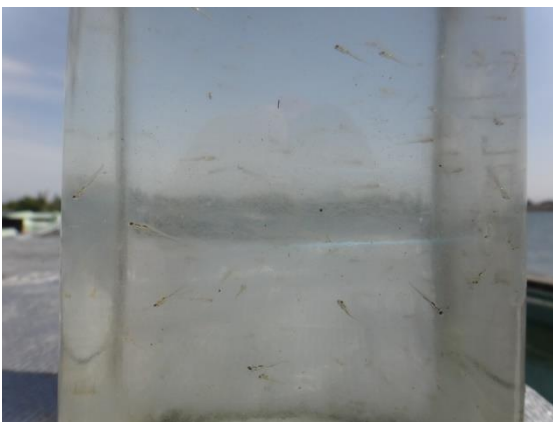
親魚養成風景



採卵作業場所



着卵状況



ふ化仔魚



網替え



汚れた網洗浄



プランクトンの採集



プランクトン給餌



外側に産み付けられた、コイ科魚類の卵
(生け簀に混入することにより、後に食害
の原因となる)



標識作業



放流